



兵庫県立芸術文化センター
開館15周年記念事業

華麗なる弾き振り
若き精鋭オーケストラと奏でる
『至高のモーツァルト』

Decca / © Justin Pumfrey

Mitsuko Uchida Mahler Chamber Orchestra

内田光子 with マラー・チエンバーオーケストラ

[ピアノ・指揮]

with

PROGRAM

モーツァルト：ピアノ協奏曲 第13番 ハ長調 K. 415

Wolfgang Amadeus Mozart: Piano Concerto No. 13 in C major, K. 415 [ピアノ・指揮：内田光子]

ヴィトマン：コラール四重奏曲 (室内オーケストラのための)

Jörg Widmann: Choralquartett (for chamber orchestra)

モーツァルト：ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K. 466

Wolfgang Amadeus Mozart: Piano Concert No. 20 in D minor, K. 466 [ピアノ・指揮：内田光子]

2020

12/2 (水) 7:00PM 開演 (6:00PM ホワイエ開場)
※客席へのご入場までにお時間をいただく場合がございます。

A 18,000円 B 15,000円 C 12,000円 D 9,000円 E 5,000円(全席指定/税込)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日) ※未就学児童はご入場いただけません。

発売日 10/24(土) チケット取扱
●芸術文化センター 0798-68-0255 <http://www.gcenter-hyogo.jp> 芸術文化センター2階総合カウンター【10/25(日)より、残席がある場合のみ】
●チケットぴあ <http://pia.jp/t/> ●ローソンチケット <http://l-tike.com> ●イープラス <http://eplus.jp>

<チケットご購入のお客様へお願い> 新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

※芸術文化センターでの販売は、来場者情報把握のため、先行予約会員に登録いただける方に限定させていただきます。チケットのご購入はお一人様2枚までとさせていただきます。※入場者数を制限して販売いたします。※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取扱いについては各プレイガイドにお問合せください。※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。※マスクを着用されない方はご入場いただけません。※感染の再拡大等により、公演の中止や、出演者、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。 主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

ご来場前にウェブサイト掲載の(当センターをご利用のお客様へ)をご確認いただけますようお願いいたします



内田光子 華麗なる弾き振り

若き精鋭オーケストラとともに贈る「至高のモーツァルト」

世界的ピアニスト、内田光子。特にモーツァルト弾きとして名高く、その演奏は「至高のモーツァルト」と称されています。今回は内田光子の弾き振りによる、2曲の珠玉の協奏曲とオーケストラのみで演奏される、今注目の現代作曲家 ヴィトマンの作品をおおくりします。様々な角度から作品に光を当て、新境地を拓く内田光子のピアノと指揮。アバドの厚い支援のもと創設された名門、マーラー・チェンバー・オーケストラ。両者の音楽は一体となり、心に深く残る演奏を聴かせてくれるに違いありません。どうぞご期待ください。



内田光子 [ピアノ・指揮] Mitsuko Uchida, Piano・Conductor

内田光子は、真実と美の姿を独自に追求しながら、自らが奏でる音楽の世界を深く掘り下げている演奏家である。モーツァルト、シューベルト、ベートーヴェンの作品の解釈で高い評価を受け一方、ベルク、シェーンベルク、ウェーベルン、ブーレーズなどの作品に光を当て新しい世代の聴衆に紹介している。クリーヴランド管との共演は100回を超えるほか、長年にわたりシカゴ響、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ、バイエルン放送響、ロンドン響、ロンドン・フィルなどの世界の主要オーケストラとの共演を重ね、ハイティンク、ヤンソンス、ムーティ、ラトル、エサ・ペッカ・サロネン、デュダメルといった世界的な指揮者との共演も多い。

2016年からアーティストック・パートナーとなっているマーラー・チェンバー・オーケストラと、ヨーロッパと北米での5年間のツアープロジェクトを行っている。また、ウィーン、ベルリン、パリ、アムステルダム、ロンドン、ニューヨーク、東京で定期的リサイタルを行い、ザルツブルク・モーツァルト週間やザルツブルク・フェスティバルにも定期的に参加している。

デッカと専属契約を結び、モーツァルトのピアノ・ソナタ全集やシューベルトのピアノ・ソナタ集など幅広いレコーディングを残している。11年にクリーヴランド管を弾き振りしたモーツァルトのピアノ協奏曲のライブ録音で、また17年にドロテア・レシュマンとで録音したアルバム『シューマンとベルク』でグラミー賞を受賞。クリーヴランド管/ブーレーズ指揮シェーンベルクのピアノ協奏曲で、グラモフォン賞(最優秀コンチェルト賞)など4種類の賞を受賞。長年にわたり若い演奏家の成長を支援し、ボルレッティ・ブイトーニ・トラストの理事を務めている。

2005年日本芸術院賞を受賞、文化功労者に選出、09年には大英帝国勳章「デイム」の称号が授与された。作品に対する深い探究と解釈が評価され、高松宮殿下記念世界文化賞(音楽部門)を受賞。兵庫県立芸術文化センターには3度目の出演となる。

マーラー・チェンバー・オーケストラ

Mahler Chamber Orchestra

マーラー・チェンバー・オーケストラ(MCO)は、1997年に指揮者クラウディオ・アバドと共に、自由で国際的なアンサンブルを目指すという共通のヴィジョンを持って創設された。20ヶ国からのトップレベルの音楽家達45名からなるMCOのサウンドの特徴は綿密で自主的な音楽を奏でるメンバーたちの緻密なアンサンブルである。彼らのレパートリーはウィーン古典派から初期ロマン派、そして現代音楽や世界初演作品まで、幅広いジャンルに及んでいる。

また、音楽の普及、教育、創造に携わる様々な活動に取り組んでおり、2009年にはMCOアカデミーを創設し、次世代への音楽の継承も行っている。

名誉指揮者にはダニエル・ハーディングが、またアーティストック・パートナーとして、ピアニストの内田光子、レイフ・オヴェ・アンズネス、ヴァイオリニストのペッカ・クーシスト、指揮者のテオドール・クルレンティスがMCOと密接な関係を築いている。

2019/20シーズンには、毎年恒例となっているルツェルン音楽祭への参加のほか、ルーマニア、ドイツ、オーストリアで内田光子とのツアー、3年にわたる北京国際音楽祭での公演がスタート、フランソワ=ガザヴィエ・ロトとのプロジェクトなどが進行中である。



【お客様へお願い】会場内で咳・くしゃみが出るときは、「咳エチケット」にご配慮・ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。



<http://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分

(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

